

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	青い鳥福祉センター (青い鳥老人ホーム部門)	所管課	長寿社会課
所在地	笛吹市春日居町小松855-192	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年5月1日 (平成16年4月1日)
管理方式	指定管理者((福)山梨ライトハウス、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青い鳥福祉センター設置及び管理条例		
設置目的	居室において養護をうけることが困難な高齢者のうち主として視覚障害者の福祉に係る業務を総合的かつ有機的に行うため青い鳥福祉センター(青い鳥老人ホーム部門)を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	居室(52室)、地域集会室・霊安室(127.50㎡)、食堂(94.5㎡)、厨房(53.4㎡)、事務所(52.5㎡)、静養室(18.8㎡)、医務室(12.4㎡)、1・2階寮母室(24.99㎡)、宿直室(9.72㎡)、面会室(16.5㎡)、男・女浴室(38.92㎡)、特別浴室(10.91㎡)、1・2階洗濯室(26.79㎡)、理容室(9.1㎡)、談話室(62.56㎡)		
主な業務内容	施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 老人福祉法第20条の4の養護老人ホームに関する業務。 介護保険法第8条第11項の特定入居者生活介護を行う事業及び同法第8条の2第11項の介護予防特定施設入居者生活介護を行う事業に関する業務。		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	県内養護老人ホーム12ヶ所のうち峡東地区 (1)養護老人ホーム光珠荘:定員50人(笛吹市) (2)養護老人ホーム晴風園:定員75人(山梨市)
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)	
利用者数	各月の入所者数	4月	50	50	50	50
		5月	50	50	50	50
		6月	50	50	50	50
		7月	50	50	50	50
		8月	50	50	50	50
		9月	50	50	50	50
		10月	50	50	50	50
		11月	50	49	49	50
		12月	48	50	50	50
		1月	50	50	50	50
		2月	50	50	50	50
		3月	49	50	50	50
	利用者数合計		597	599	599	600
目標値		600	600	600	600	
目標値設定の考え方		(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	(定員50名×12ヶ月)	
対21年度比		100.7%	101.0%	100.3%	100.5%	
稼働率		99.5%	99.8%	99.8%	100.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	471,378	716,000	738,140	621,000
	指定管理者委託料	163,190,346	165,264,000	165,088,276	167,112,000
	その他	10,805,169	12,380,000	12,561,030	6,215,000
	収入合計(A)	174,466,893	178,360,000	178,387,446	173,948,000
支出	人件費	110,320,155	108,783,000	108,614,862	114,370,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	61,564,156	69,577,000	65,044,812	59,578,000
	(うち外部委託費)(B)	2,594,752	3,550,000	3,268,417	3,300,000
	支出合計(C)	171,884,311	178,360,000	173,659,674	173,948,000
収支差額(A-C)		2,582,582	0	4,727,772	0
外部委託比率(B÷C)		1.5%	2.0%	1.9%	1.9%
利用者一人当りの経費		273,351	275,900	275,606	278,520

5. 利用者満足度

実施方法等	●設備・入浴・健康管理は平成23年9月1日～24日。実施方法:相談員、支援員が利用者の居室で面接調査を行う。●食事は平成第1回目H23年8月19～10月17日、第2回目H24年2月2日～3月12日。実施方法:栄養士が利用者の居室にて行う。回答数:50名
-------	--

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設の設備について	78.0%	4.0%	2.0%	16.0%
②行事等	76.0%	6.0%	0.0%	18.0%
③食事	74.0%	10.0%	6.0%	10.0%
④入浴	76.0%	6.0%	2.0%	16.0%
⑤健康管理	68.0%	16.0%	2.0%	14.0%
⑥利用者のケア	66.0%	14.0%	6.0%	14.0%
⑦金銭管理	82.0%	4.0%	0.0%	14.0%
⑧その他	70.0%	10.0%	6.0%	14.0%
各項目の平均	73.8%	8.8%	3.0%	14.5%

利用者の意見	①外出行事には車イスでも参加出来るのでうれしい。 ②歯や体調不良の時、御粥にしてもらえるので、食事はとても美味しい。 ③温泉で気持ちが良いがもう少し長く入浴したい。
利用者の意見への対応	①今後も行事には沢山の方に参加して頂きたいので、工夫して参加できる環境を作ります。 ②利用者の体調に合わせ、食事を提供する様、今後も務める。 ③利用者全員が入浴するので、やむなく入浴時間を20分としました。入浴日以外に、毎月1回「湯治の日」も設けておりますので、楽しんでいただきたい。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令・事業計画等に基づき適正に業務を執行した。	事業計画に沿った業務が実施されている。
運営業務	事業計画等に基づき、適正に業務を執行した。なお、監査において、処遇面で、一部様式等について口頭指導を受けたが、早急に改善を行ったところがあります。	監査等において指摘を受けることのないように、業務を遂行されたい。
自主事業	各種の行事については行事計画表のとおり、実施出来た。利用者は多くの事業に参加されていた。ショートステイ事業については、利用促進に努め適正に事業を実施している。	各種行事については、行事計画表のとおり実施されている。ショートステイ事業においても適正に業務が執行されているが、今後とも事業活用の推進を図られたい。
利用状況	利用定員50人に対して、ほぼ100%の利用率であった。措置者(市町村)からの入所依頼を受け、被措置者の状況を確認する中で入所を決定している。	措置者(市町村)からの入所依頼については、被措置者の状況を確認する中で入所決定が適正に行われている。
収支状況	収入はほぼ前年度並の収入であった。支出は、経費削減に努めたが、施設が8年目をむかえる中で、電球をLED電球に切りかえたり、厨房や空調の修理などを行うとともに、将来に備えて積立にも回した。	計画的な管理運営が図られていると評価できる。
利用者満足度	利用者の要望については、対応できるところは早急に改善等を行ったところがあります。なお、各項目ともに「非常に満足」が昨年に比べ大幅に多くなっている。これは、何ごとにも利用者に対して、利用者の目線で利用者の立場で処遇を行っている結果と思う。これからもより良い処遇を目指してやっていきたい。	利用者満足度調査の結果、昨年度と比較すると全体的に評価が上がっており、今後も利用者からの要望をできるだけ取り入れ、対応されたい。
運営目標の達成状況	入所者が独立心を損なうことなく、平穏な生活が送れるよう生活環境を整備し、生きがいの持てる健全で明るい老後を送れるよう入所者の目線で、入所者の立場に立って支援の充実に努めた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ○経営状況については、計画的な管理運営が図られている。 ○今後も事故の無いように、日頃の点検作業や事故防止策を徹底してほしい。 ○節電への取り組みに際しては、入所者の健康等に十分留意すること。 ○入所者の処遇計画について漫然かつ画一的なものとならないよう、更なる充実を図ること。 ○今後もショートステイ事業の積極的な推進を図られたい。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月開催するケア会議において、事故発生防止のための研修を充実して実施するとともに、処遇計画も漠然かつ画一般的なものにならないよう職員に周知して参りたい。 ○節電のために利用者が熱中症とならないようこまめに水分補給するなど健康管理に配慮して参りたい。 ○ショートステイ事業の更なる周知を図るために、広報紙などを活用してPRして参りたい。 	

7. 管理体制(組織図)

